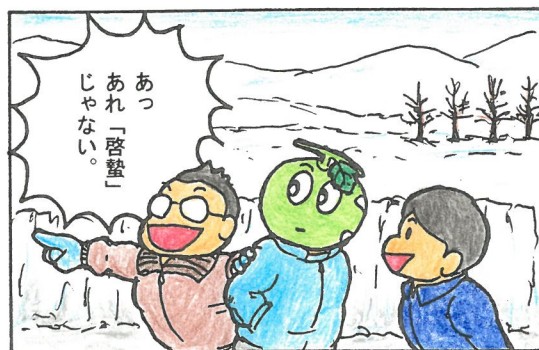


ベルデの
つきがた
グラフィティ



作
SのAたろう

「啓蟄」は、冬ごもりをしていた虫が、春を感じて土の中からはい出てくる という二十四節気の中の春を表す言葉のひとつです。3月5日または3月6日から始まる15日間を指し、今年は3月5日からです。

でも、雪のない地域でのことで北海道には当てはまりませんね。この辺で虫がうごめき出すのはもう少し先の話。まだまだ雪が沢山の月形では、「雪解けが始まったなー」ってぐらいの季節ですね。農家の方々は、融雪剤をまき春の準備を始めるころです。

ですが、長い冬が終わりに近づき、「雪はね」からも解放され、これから暖かい春を迎えるにあたり、少しウキウキしちゃってるのは筆者だけでしょうか。